

令和8年度 我が校の学ぶ力向上策

【市目標】

「子ども教職員も笑顔あふれる学校」

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

「自分を信じ、仲間と学びを楽しむ子の育成」

- 校内研究を中心に、学習指導要領の趣旨及び読み解く力の育成に視点を置いた授業改善に取り組む。
- CT機器を使った授業改善を日常的に進め、「個別最適な学び」「協働的な学び」の可能性を探る。
- 家庭学習推進の取組をブロック内小中連携事業と連動して進める。

【現状と課題】

- 視点1 児童が主体となる授業への改善は引き続き進めていく必要がある。
- 視点2 支援を必要とする児童への対応を担任と支援員とが連携を密にして
- 視点3 不登校傾向児童に対し、安心できる居場所がある学校づくりを行う必要がある。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①主体的な学びとなる授業を展開し、粘り強く課題解決に向かう姿を増やす。ICTの活用、個に応じた支援のあり方についても検討する。	①【児童アンケート】4…とてもそう思う の割合 「授業は楽しくてわかりやすい」50%以上		
	①【CBTデータ】 前年度より向上…60%以上		
	①【保護者アンケート】4…とてもそう思う の割合 「子どもは宿題だけでなく、進んで予習や他の勉強をしようとしている」 50%以上		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①毎月の校内人権の日の取組を通し、人権について学び、自尊感情を高めると同時に相手も認め大切にする活動を行う。	①【児童アンケート】4…とてもそう思う の割合 「友達や人を思いやり、困っているときは助け合っている」50%以上		
	①【保護者アンケート】4…とてもそう思う の割合 「子どもは人に思いやりをもって、優しく接している」50%以上		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①安心して学べる集団作りを目指し、児童の実態の把握と交流、学級経営の手法など情報交換する。 ②穏やかな校風と環境を作るため「言葉づかい」を意識した指導やESA(笑顔で先にあいさつ)運動を推進する。	①【児童アンケート】4…とてもそう思う の割合 「学校へ行くのが楽しい」50%以上		
	②【児童アンケート】4…とてもそう思う の割合 「進んであいさつをしている」80%以上		
	②【保護者アンケート】4…とてもそう思う の割合 「子どもは自ら進んであいさつをしている」50%以上。		

- ・「学ぶ力向上策」については、4月の職員会議において、校長の学校教育目標、学校経営方針を伝える機会に合わせ、学ぶ力向上推進リーダーから説明する。
- ・視点1については、校内研究を推進する二部会(自信部と信頼部)の自信部で内容を検討し、校内研究主任より全員に共通理解を図る。
- ・取組の状況については、二部会(自信部と信頼部)の中で進捗状況を確認し、その後、各職員へと伝達する。また、年2回(7月、12月)実施する学校評価や全国学力学習状況調査、CBTデータ等の数値結果をもとに、改善策について二部会で検討する。その結果を9月の職員会議で共有し、その後の実践につなげていく。
- ・取組や調査結果については、学校だより等を通じて保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題

--